



酒井はやみ 議員
(日本共産党
幕別町議員団)



国が策定した「放課後児童クラブ運営指針」では、「子どもが相互に関係性を構築したり、一つの集団としてまとまりをもつて共に生活したり、放課後児童支援員等が個々の子どもと信頼関係を築いたりできる規模として、おおむね40人以下とする」とある。つくし学童保育所の5月現在の入所登録者数は、定員90名に対し173人となっている。子どもたちが放課後や長期休暇を過ごす生活の場としての役割を発揮し、保護者が安心して預けられるよう、保育の質的向上に向けてどう取り組んでいるか、次の点について伺う。

- (1) つくし学童保育所の入所状況について
- ① 定員超過の解消は。② 今後の入所見込みは。③ 新たな施設整備の考えは。
- (2) 保育環境の改善について
- ① 気温上昇、異常気象に対応したエアコン設置を。② 1年生から6年生までの入所児童に対応した施設整備を。

問

定員超過の解消など、子どもたちが安心して通える学童保育所に

待機児童を発生させないよう、設備の基準を遵守して可能な限り受け入れたい

(3) 各学童保育所の支援員の体制について

- ① 支援員の配置基準と現状は。② 支援員確保対策は。③ 支援員の待遇改善を。

町長

(1) ① 実際の通所児童数は

曜日によって異なるが、5月の実績では1日平均で約130人、登録児童数168人(6月1日)の77・4%であり、「幕別町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例」に規定する設備の基準を遵守した上で可能な限り児童を受け入れている。今後も、待機児童を発生させないことを最優先し、基準を超えない範囲で入所を希望する児童を最大限に受け入れたい。

② 近年の人口動態、札内南小学校の児童数の推移や保育所の通所状況、周辺の宅地造成も落ち着き、3年程度は横ばいの状態が続くがその後は減少すると予想している。③ 中期的には利用者の減少が予想され、現時点では増築などの新たな施設整備を行う考えはないが、次期「子ども・子育て支援事業計画」において保育の必要量が想定を超えて増加する場合には、対応方法の検討を進めたい。

(2) ① つくし学童保育所の保護者等からエアコン設置を求める署名を添えた要望書を受けた。その際、設置するとしたならば小学校を優先して進めるべきとの話をした。ただし、小学校と違い一人当たりの空間が狭く、空気の流れも滞留し、気温以上に暑さを感じる状況にあることも想像できるため、暑い日には実際に現場に向き、その実態を十分に確認することなどをお伝えした。今後も気候変化に注視し、児童の安全対策と保育環境の充実に努めたい。

② これまでも必要に応じて増築または修繕を行っており、今後も同様に対応する。

(3) ① 町条例に基づき、おおむね40人ごとに2人以上の支援員を配置している。5月分利用実績の1日当たりの通所児童数で、はぐるま

学童保育所は約40人に対して支援員が4人、あすなろ学童保育所は約52人に対して支援員5人、つくし学童保育所は第2も含め約130人に対して支援員9人、やまびこ学童保育所は約53人に対して支援員4人、ちゅうるい学童保育所は約15人に対して支援員2人を配置し、全て基準を満たしている。

② 広報やハローワークの募集のほか退職された校長や支援員を通じて紹介など、人材確保に努めている。補助員として勤務する支援員には、積極的に放課後児童支援員認定資格研修の受講を勧め、資格取得を促すなど資質向上に努めている。

③ 社会保険、雇用保険のほか、非常勤公務災害保険に加入して労働条件の確保に努めている。教員免許や保育士資格を有する補助支援員の賃金は、昨年4月から約1・6%増額して改善を図った。



つくし学童保育所